



2019年度決算 を審査

市議会は、お金を使う予定（予算）を決め、実際に使ったお金（決算）を審査し、次の予算に活かすというサイクルで、無駄な公金使用を防ぐ役割を果たすのです。

岡山市議会では、決算委員会を設けて一般会計、特別会計、企業会計ごとに決算審査していました。今年から従来のやり方では、一般会計の審査だけ時間がかかりすぎるため、各常任委員会で担当するように変更になりました。

子ども・文教委員会の決算審査

■教育委員会

*特別支援教育

障害のある児童生徒に対して、その1人1人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服できるよう、必要な支援を行う特別支援学級数が増えており、増えた学級数に応じた教員の増員が必要ですが、退職者が162人、新規採用が160人で、学級増への対応は心もとない状況です。

当局は、「計画的に採用していく」とのことですが、子どもたちへの支援を手厚くするために必要な教員の増員をきちんと行わなければなりません。

*看護ケア職員の配置

人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引等の医療的ケアが日常的に必要な子どもやその家族への支援は、医療、福祉、保健、子育て支援、教育等の多職種連携が必要不可欠です。昨年度までは、嘱託職員の採用で看護師、准看護師資格での対応で、漏れはなかったとの答弁でした。ただ、家族が付き添っている子どもたちもおり、より充実した看護ケア職員、学習支援員の配置が求められます。

今年度からは会計年度任用職員の配置となり、正規看護師に限るとされています。子どもたちのために看護ケア職員が足りないという事は避けてほしいと思います。

■岡山っ子育成局

*放課後児童クラブ

児童クラブのエアコン設置は、昨年度から岡山市が設置することになりました。新築クラブは木造建築となり、エアコンも整備され、子どもたちの生活環境が整ってきました。ただ、まだ、プレハブ設置のクラブが多くあり、大きな課題だと思います。今年のような猛暑の中、コロナ対策として空気の入替えで窓を開けているとエアコンが効かないという事象が生じています。

また、3月には突然の学校休校で、児童クラブは朝からの開所となりました。児童クラブ全体の補助金は12億8678万円で、3月分の追加の補助金は6162万円でした。子どもたちも、毎日お弁当を作った保護者の方も、長く働いた支援員さんも大変だったことがよくわかります。

*30%の保育園が定員割れ

岡山市中心部の南方こども園を含め定員割れの保育園が約30%あります。保育士不足に対しては、保育士待遇改善を図るべきです。

民間保育士の賃金2%加算額は1億8221万円、宿舍借り上げ料は18人で518万円、奨学金返済は74人で444万円でした。保育士不足解消に取り組み、公立こども園・保育園の定員割れ等の改善を強く要望しました。

お知らせ

▼10月臨時市議会 10/27 (火)

▼11月定例市議会 11/27 (金)～12/15 (火)

▼11月の「ひまわりマーケット」「秋の親睦旅行」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止します。